第３講
北ヨーロッパ・西ヨーロッパ

［1］　北ヨーロッパ諸国はいずれも特徴的な自然環境を有し，産業と結びついている。

・アイスランド・・・海嶺上に形成された火山島からなる。水力発電と地熱発電が行われ，魚介類が主な輸出品目の一つ。

・ノルウェー・・・古期造山帯の山岳国。急傾斜と豊富な降水量を利用して水力発電が行われ，アルミニウムの生産は西ヨーロッパ１位。北海油田に面し，原油や天然ガスが主要輸出品目である。暖流の影響により，緯度のわりに冬は温暖で，沿岸は不凍港となる。北極圏に位置するナルビクは，スウェーデン北部の鉄鉱石を積み出す港湾である。

・スウェーデン・・・国土の広い範囲はバルト楯状地に含まれ，森林に覆われる。福祉政策の奏功によって，1990年代には合計特殊出生率が2.1まで回復した（現在はやや低下）。発電は水力と原子力。主な輸出品目は自動車やパルプ。

・フィンランド・・・「森と湖の国」。バルト楯状地に位置。豊富な森林資源を利用した木質ペレットによる火力発電が盛ん。なお，フィンランド語はウラル語族の言語。

・デンマーク・・・大陸氷河に削られた平坦な国土を有し，国土の半分以上が耕地。風力発電が総発電量の60％を越えている。酪農が盛んであり，肉類（豚肉）の輸出が多い。

［2］　北ヨーロッパ諸国はいずれも人口規模が小さく，人口密度も低い。アイスランドが40万人，ノルウェー・フィンランド・デンマークが500万人，スウェーデンが1000万人。いずれも１人当たりGNIが高い高所得国だが，都市の規模は比較的小さい。

　アイスランドとノルウェーを除いた３か国がEU加盟。宗教は全域でプロテスタント。言語はフィンランドを除きゲルマン系。

　ここで登場している都市はいずれもおおよそ北緯60°に沿っている。暖流の影響による不凍港の判定は用意であるが，他の２つについては「首都」と「人口規模が大きい」ことに注意して考えてみよう。

［３］ ヨーロッパの地形は「北でなだらか，南で急」である。北部は安定陸塊や古期造山帯，南部は新期造山帯。

主な安定陸塊の地形は，バルト楯状地（スウェーデンやフィンランド。古い時代の岩盤が露出）。またロンドンやパリの構造平野にはケスタ地形がみられる。

主な古期造山帯の地形は，ペニン山脈（イギリス本島を縦断），スカンディナヴィア山脈（スカンディナヴィア半島の西岸に沿う），スデーティ山脈（ポーランド南部。石炭資源が豊富）。

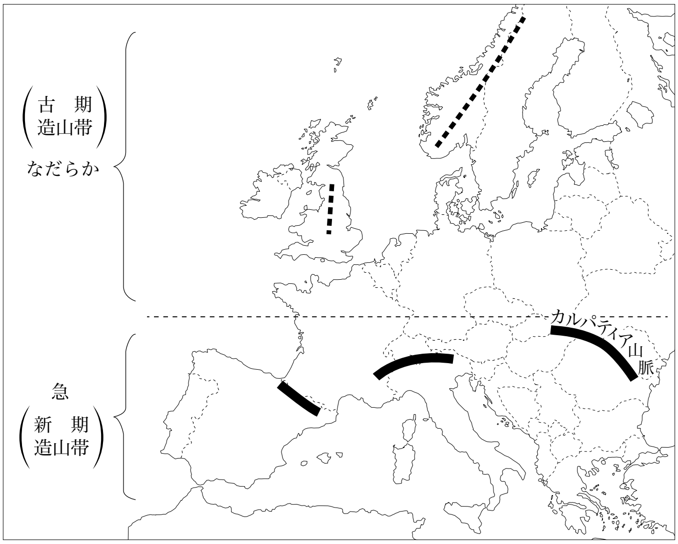
主な新期造山帯の地形は，ピレネー山脈，アルプス山脈，イタリア半島（火山がみられる），カルパティア山脈（東ヨーロッパ中央部。ヨーロッパで最も北に位置する新期造山帯）。

それぞれの選択肢の分析に入ろう。

Ｘは「原子力発電所」に注目。全体として原子力発電所の開発には積極的でないヨーロッパではあるが，現在も依存度が高い国はある。

Ｙは「炭田」，「大工業地帯」がキーワード。なお，河口付近には掘り込み式の人工港がつくられ，ヨーロッパ有数の貿易港となっている。

Ｚは河口からやや遡ったところに大都市が立地している点に注目。「人口の過密化」解消のためにニュータウン開発が行われた歴史もある。世界都市として，金融業の世界的中心地の一つ。



［4］ 主要５か国の首都については，人口規模と位置が重要。なお，ヨーロッパにおいてはスイスを除いて全て人口最大都市と首都が一致。

・ロンドン(イギリス)・・・国土の南部に位置。テムズ川のエスチュアリーに面する港湾都市として発達。国内人口の１割以上が集中。旧港湾地区(ドックランズ)ではスラムの再開発が行われた。
・パリ(フランス)・・・国土の北部に位置。都市圏人口は1000万人に達し，中央集権国家の中心。パリ盆地はヨーロッパを代表する小麦栽培地域でもある。都心部の歴史的地区は観光地として整備され，都市郊外に副都心(ラ・デファンス)や移民の集住地区などが設けられている。
・マドリード(スペイン)・・・国土の中央部のやや乾燥した高原上に位置。人口は約300万人で自動車工業などが発達。なお，地中海に面するバルセロナは国内第２の都市であり，フランスなどから自動車工場が進出。
・ローマ(イタリア)・・・イタリア半島の「ヒザ」に位置する。イタリア南部は経済的に恵まれず，ローマも観光地として栄えるものの，商工業は発達していない。人口約300万人。市内にカトリックの聖地であるバチカン市国がある。
・ベルリン(ドイツ)・・・国土の東部に位置。かつての社会主義地域であるドイツ東部は経済レベルが低く，人口流出地域である。ベルリンも国内人口最大都市(約350万人)ではあるが，産業や経済の中心ではない。

ア・・・「エスチュアリー」に面する港湾都市が首都である。「金融」が発達するのは１人当たりGNIが高い国。

イ・・・都市が分散し，決して首都を中心とした国家ではない。北西部の「炭田」を中心とした工業地域が重要。また，南部の都市は国内人口３位であり，伝統的な産業に加え，近年は先端産業も発達。

ウ・・・首都は盆地の中央に位置し，「一極集中」である。なお，北東部のロレーヌ地方ではかつて鉄山を中心とした鉄鋼業が栄えたが，現在は衰退している(ダンケルクなど臨海部に輸入資源を利用した製鉄所が新設)。

イギリスとフランスについて首都以外の主要都市を挙げておこう。

(イギリス)

・グラスゴー・・・スコットランド地方の中心都市。一帯はシリコングレンとよばれ，先端産業が発達。

・マンチェスター・・・ペニン山脈の西麓に位置。産業革命発祥の地であるランカシャー地方の中心都市。偏西風の影響で湿度が高く，綿工業の成立に有利だった。

・バーミンガム・・・ペニン山脈南部。石炭と鉄鉱石資源に恵まれ鉄鋼業が発達。現在は機械工業など。

（フランス）

・ダンケルク・・・ドーヴァー海峡に面する港湾都市。臨海型の製鉄所が設けられた。

・ストラスブール・・・ドイツに接するアルザス地方の中心都市。ライン川に面する河港を有し，ヨーロッパ議会が置かれる。アルザス地方は，フランスとドイツとの係争地だった。

・トゥールーズ・・・南部の都市。航空機のEU共同工場が立地。

・ニース・・・地中海に面する保養都市。北部ヨーロッパの人々がバカンスを楽しむ。

［５］　Ｃはロンドンとパリである。これらの都市の特徴を考えよう。

注目するべきは，オランダのロッテルダム。ライン川河口の三角州（デルタ）に位置し，沿岸を掘り込むことによって人工港のユーロポートが開かれている。ヨーロッパ有数の貿易額を誇るだけでなく，輸入資源を利用した石油化学工業も立地している。

［６］　ドイツは国土の周辺部に主要都市が分散している。

・北部・・・ハンブルク。エルベ川のエスチュアリーに面する港湾都市で造船業が発達。中世の自治都市（ハンザ同盟都市）の一つ。

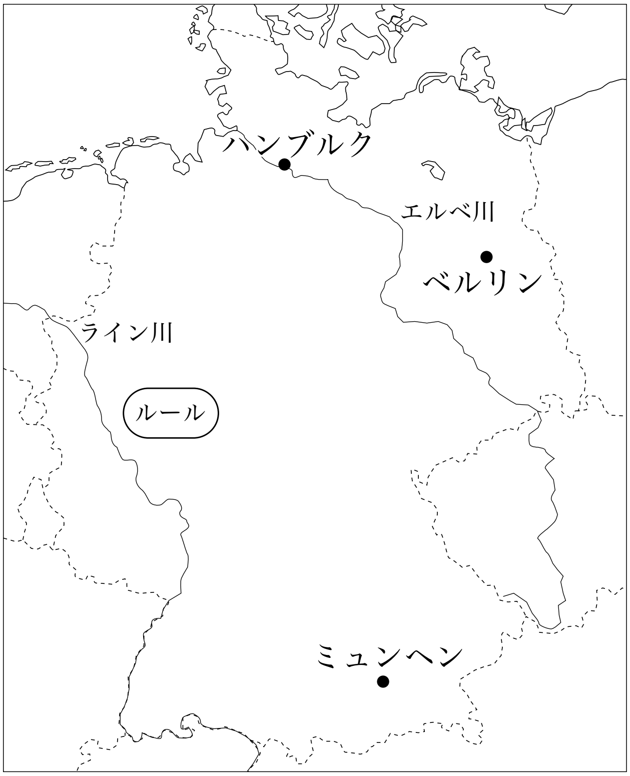
・西部・・・ルール地方。デュイスブルクやエッセンなど中小都市が重なり，連接した都市圏を形成（コナベーション）。炭田立地型のルール工業地帯。ライン川の水運を利用。

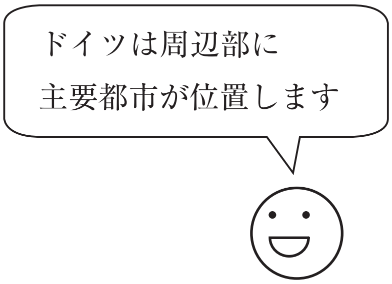
・南部・・・ミュンヘン。カトリック教徒の多いバイエルン州の中心都市。ビールの街として知られるが，自動車工業や先端産業も発達。

・東部・・・ベルリン。首都にして人口最大都市ではあるが，経済的には停滞。

直接的なキーワードは「ビール祭り」。ただし「ブドウ」にも注目してほしい。ヨーロッパにおけるブドウの栽培北限はパリ盆地であり，北ヨーロッパでは栽培されない。また，河川や運河で「さまざまな国旗を掲げた貨物船」が行き来しているこ

とも重要。国際河川（複数の国を流れ，沿岸国の自由航行が認められた河川）であり，さらにヨーロッパの地形を考えた場合，険しい地形の南部では河川交通は発達しないことから，南部ではないとわかる。





［７］　イタリアの都市を整理しよう。

・「重工業三角地帯」・・・北西部の工業地帯。トリノ（自動車）やミラノ（ファッション産業）など。
・「第三のイタリア（サードイタリー）」・・・北東部のボローニャを中心とした地域。伝統的な衣類や皮革工業など，中小工場のネットワーク。
・ヴェネツィア・・・土砂の堆積地形の上に市街地が形成。「運河の街」。
・タラント・・・イタリア半島の南端。南北格差是正のバノーニ計画の一環として，輸入資源に依存した臨海型の製鉄所が新設された。

［８］　ヨーロッパの言語（民族）分布は以下の通り。

・ゲルマン系・・・北西部。北ヨーロッパやイギリス，ドイツなど。
・ラテン（ロマンス）系・・・南西部。フランス，スペイン，イタリアなど。
・スラブ系・・・東部。ポーランド，旧ユーゴスラビア，ロシアなど。

言語系統と宗教(宗派)は大まかに対応する。ゲルマン系がプロテスタント，ラテン系がカトリック，スラブ系が東方正教。ただし，カトリックの分布範囲は広く，ゲルマン系でもドイツ南部はカトリック地域であり，さらにスラブ系でもポーランドは熱心なカトリック国として知られる。

また，旧ユーゴスラビア地域は主にスラブ民族であるが宗教構成が複雑で，西部(クロアチアなど)ではカトリック，東部(セルビアなど)では東方正教が主。ボスニア・ヘルツェゴビナなどではムスリムも多い。

・北アイルランド地方・・・アングロサクソン(ゲルマン)系のプロテスタント教徒と，アイルランド(ケルト)系のカトリック教徒の対立。かつてイギリスがアイルランドを植民地としていた歴史も。

・ベルギー・・・北部のフラマン地方ではゲルマン系のオランダ語，南部のワロン地方ではラテン系のフランス語が使用されるなど，多言語国家となっている。ヨーロッパにおける多言語国家の例としては，他にスイスがある(ドイツ語，フランス語，イタリア語，ロマンシュ語が公用語)。

・バスク地方・・・フランスからスペインにまたがる地域。周辺地域とは異なった言語が使用される。独立や自治権の拡大を求める動きも(ただし，宗教はカトリックで周辺国と同じ)。

(参考)ブリュッセルにはEUの本部が置かれる。EUの加盟国はイギリスの離脱により27か国。域内人口は28か国時代は5億人を超えていたが，現在は約4.5億人。

［９］ ヨーロッパは河川交通の発達した地域で，多くの国際河川が流れ，それぞれが運河で連結されている。

・エルベ川・・・チェコからドイツを通り北海へ流れる。河口のエスチュアリーには港湾都市のハンブルク。

・ライン川・・・スイスやフランス，ドイツなどを流域に収め，オランダから北海に流出。河口に三角州を形成。沿岸にはバーゼル(スイス。精密機械工業)，ストラスブール(欧州議会)，デュイスブルク(ルール地方。鉄鋼業)など河港を備えた都市が並ぶ。河口は掘削され，ロッテルダムに人工港のユーロポートが開かれている。ヨーロッパ最大の貿易港であり，石油化学工業も立地。なお，支流のマイン川の沿岸には金融業の中心であるフランクフルト(欧州中央銀行)。

・ドナウ川･･･ドイツ南部から東ヨーロッパへ流れ，黒海に注ぐ。沿岸にはウィー

ン（音楽の都），ブダペスト（双子都市），ベオグラード（旧ユーゴスラビアの首都）が位置し，さらにルーマニアとブルガリアの国境を成す。河口はデルタを成し，湿地帯である。ハンガリー盆地は肥沃な土壌レスに恵まれ，小麦とトウモロコシの栽培が特徴的な農業地域である。

Ｊ；ルール工業地帯に近接するデュッセルドルフ。ライン川に沿って多くの中規模都市が並ぶ。

Ｋ；アルザス地方の中心都市ストラスブール。かつてドイツに支配されていた時代も。アルザス地方は肥沃な土壌にも恵まれ，ブドウの栽培で名高い。

Ｌ；オーストリアの首都ウィーン。多くの音楽家が活動拠点とした。

Ｍ；セルビアの首都ベオグラード。ユーゴスラビア社会主義連邦共和国の首都でもあった。旧ユーゴスラビアはカトリックと東方正教，イスラム教が混在する地域。

［10］　①；「エスチュアリー」がポイント。

②；「ラグーン」とは，砂の堆積地形（砂州など）によって外海とほぼ区切られた水域。浅海に土砂が堆積することによって様々な地形が生まれている。

③；三角州（デルタ）を形成する主な河川は，長江，メコン川，ガンジス・ブラマプトラ川，ナイル川（円弧状三角州），ニジェール川，ライン川，ドナウ川，ミシシッピ川（鳥趾（ちょうし）状三角州）。

④；「両側を急斜面に挟まれた」地形は氷河の侵食による。

第３講
北ヨーロッパ・西ヨーロッパ［練習問題］

［１］（2018年度地理Ｂ本試験第５問問１）

ヨシエさんは，次の図１に示すルートのように，ノルウェー，スウェーデン，フィンランドの３か国を旅行中に風景や気温の違いを体験し，３か国の地形と気候の特徴を次の図２のようにまとめた。図２中の**ア**～**ウ**は，３か国の標高200ｍ以下の面積（＊）の割合と，ほぼ同じ緯度にある都市（ベルゲン，ストックホルム，ヘルシンキ）における最寒月と最暖月の月平均気温を示している。国名と**ア**～**ウ**との正しい組合せを，次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。

（＊）島嶼部を除く。

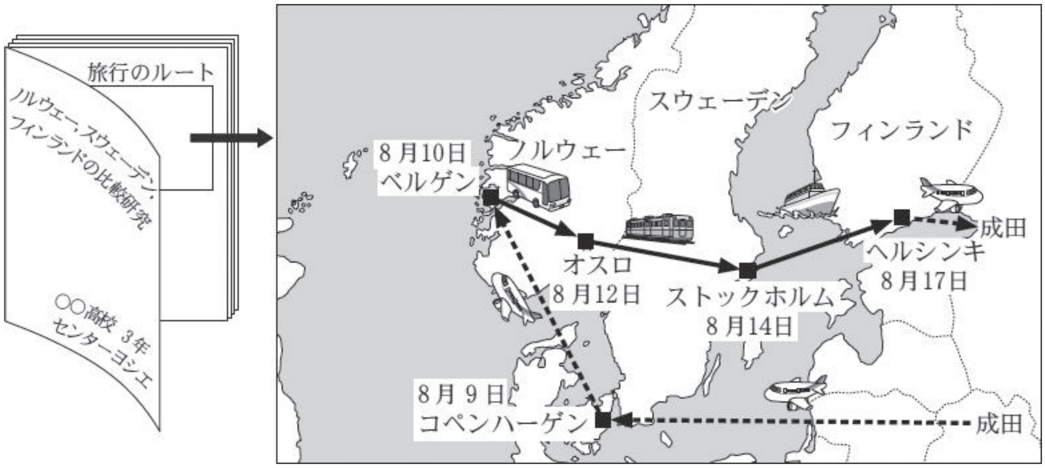


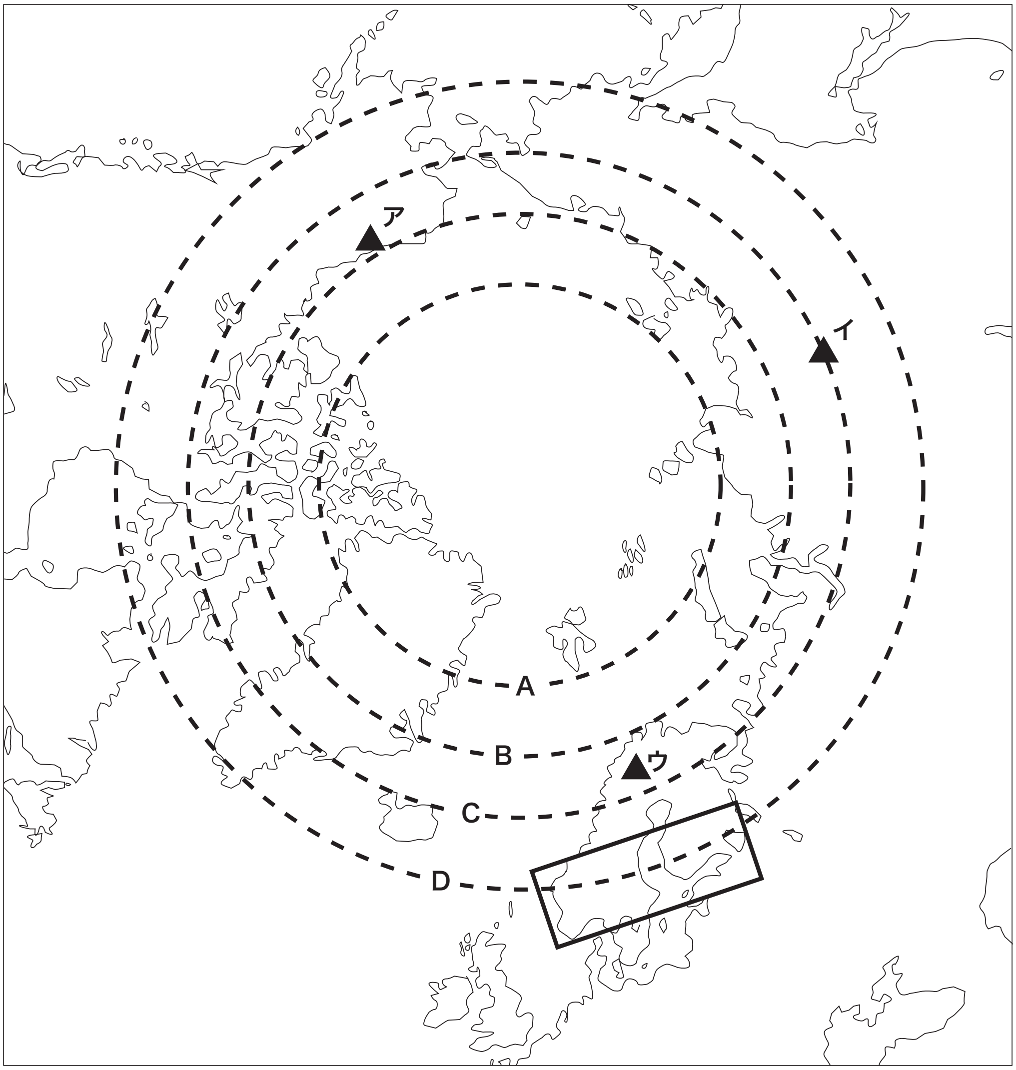
図 1

図 2

	①	②	③	④	⑤	⑥
ノルウェー	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
スウェーデン	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
フィンランド	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

［2］（2006年度地理Ｂ追試験第５問問６）

次の図２は，図１中の太線枠内を拡大して示したものである。また，下の**Ｐ**～**Ｒ**の文章は，図２中のほぼ同じ緯度に位置する**サ**～**ス**の都市のいずれかについて説明したものである。**Ｐ**～**Ｒ**と**サ**～**ス**との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。



北極を中心としたランベルト正積図法。

図　1

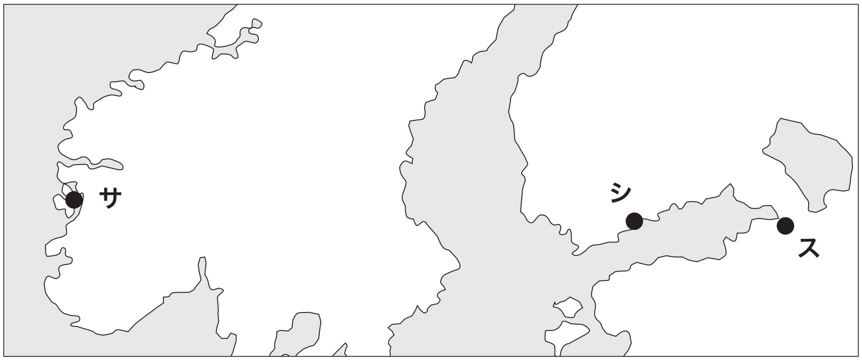


図 2

P 河川の河口部に位置する港湾都市。人口が400万人を超える大都市であり，内水面交通と海上交通をつなぐ拠点となっている。

Q 冬季にも氷結しない海域に臨む港湾都市。かつては造船業と繊維工業が盛んであったが，現在は衰えている。

R 首都でもある港湾都市。かつて隣国の支配下に入った時期に都市の原型が形づくられた。

	①	②	③	④	⑤	⑥
P	サ	サ	シ	シ	ス	ス
Q	シ	ス	サ	ス	サ	シ
R	ス	シ	ス	サ	シ	サ

［３］（1999年度地理Ｂ追試験第１問問３）

都市の発達や地域の開発についても，河川流域ごとに特徴がみられる。次の文章Ｘ～Ｚは，図１中のテムズ川，ライン川，ローヌ川のいずれかの流域の特徴について説明したものである。それぞれの川の説明の組合せとして正しいものを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

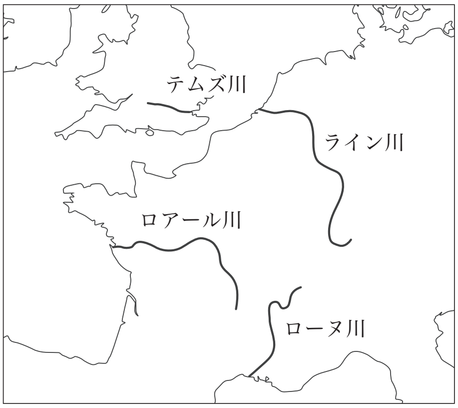


図　1

Ｘ　やや急流であるが古来，重要な交易ルートとなっており，河川沿いに古代起源の都市や定期市に起源をもつ都市がみられる。現在，河口には石油基地，中流域には原子力発電所が立地している。

Ｙ　緩やかな流れは水運に適しており，中流域における19世紀の炭田開発をきっかけに大工業地帯が発達し，石炭や鉄鉱石の運搬船が多数就航していた。河口の港は現在，世界有数の貨物取扱量を誇っている。

Ｚ　勾配が緩やかで河川交通が早くから発達し，河口から数十km上流にある都市が商業の中心であった。この都市を中心にした人口の過密化の結果，大気汚染や水質汚濁の問題が生じた。

	①	②	③	④	⑤	⑥
テムズ川	Ｘ	Ｘ	Ｙ	Ｙ	Ｚ	Ｚ
ライン川	Ｙ	Ｚ	Ｘ	Ｚ	Ｘ	Ｙ
ローヌ川	Ｚ	Ｙ	Ｚ	Ｘ	Ｙ	Ｘ

［４］（2005年度地理Ｂ追試験第２問問６）

次の**ア**～**ウ**の文章は，イギリス，ドイツ，フランスのいずれかの国における都市と産業について述べたものである。**ア**～**ウ**と国名との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

ア　この国の中南部には，鉄鋼業など重工業の発達した都市が集中する。三角江（さんかくこう）（エスチュアリー）の近くに位置する首都は，世界の金融業の中心地として発展してきた。近年は，その郊外において先端産業の発展が著しい。

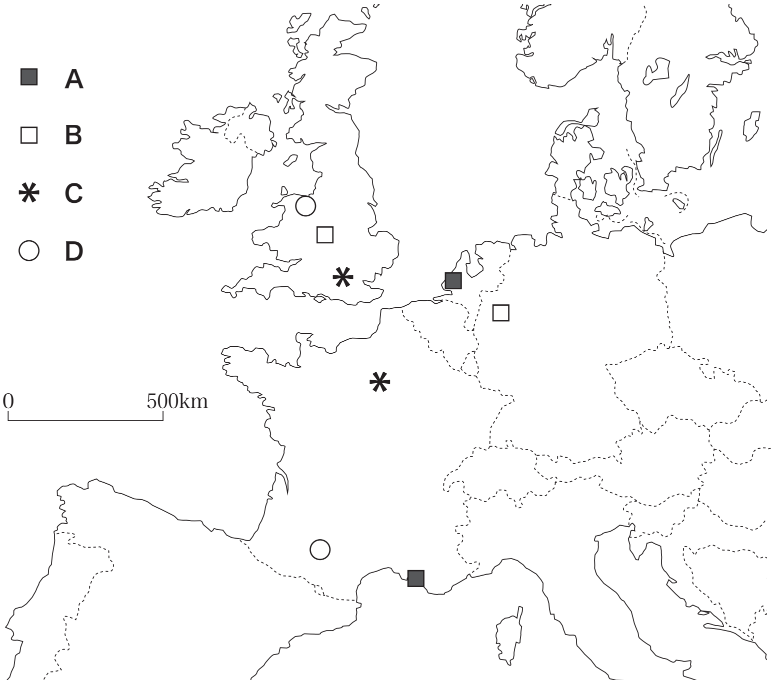
イ　この国では，主要な産業都市が各地に分散している。国土の北西部には，炭田を基礎にしたこの国最大の産業地域がみられる。また，近年では，南部の地方中心都市などで先端産業の発展がめざましい。

ウ　この国では，広い盆地の中央に位置する首都への一極集中が著しい。国土の北東部に鉄鉱石を利用した重工業都市が発達してきた一方で，首都を中心とした大都市圏が，この国最大の産業地域になっている。

	ア	イ	ウ
①	イギリス	ドイツ	フランス
②	イギリス	フランス	ドイツ
③	ドイツ	イギリス	フランス
④	ドイツ	フランス	イギリス
⑤	フランス	イギリス	ドイツ
⑥	フランス	ドイツ	イギリス

［５］（1998年度地理Ｂ追試験第１問問６）

次の図中のＡ～Ｄは，それぞれ共通の特徴をもつＥＵ諸国の工業地域（または都市）を示している。Ｃの説明として適当なものを，下の文①～④のうちから一つ選べ。



① EU諸国による旅客機の共同生産にかかわる組立工場が立地している。

② 石油などの輸入に便利なため，エネルギー革命後，重化学工業が発達した。

③ 炭田などを基礎として発達したが，最近，素材型重工業が停滞している。

④ 都市型の消費財工業に加えて，近年は先端技術産業の集積がみられる。

［６］（1997年度地理Ａ本試験第１問問１）

太郎君は夏休みにヨーロッパに滞在する父を訪ね，いっしょに自動車でヨーロッパ各地を旅行した。次の図はその旅行ルートを，また次の文章はその時のある一日の紀行文をそれぞれ示している。

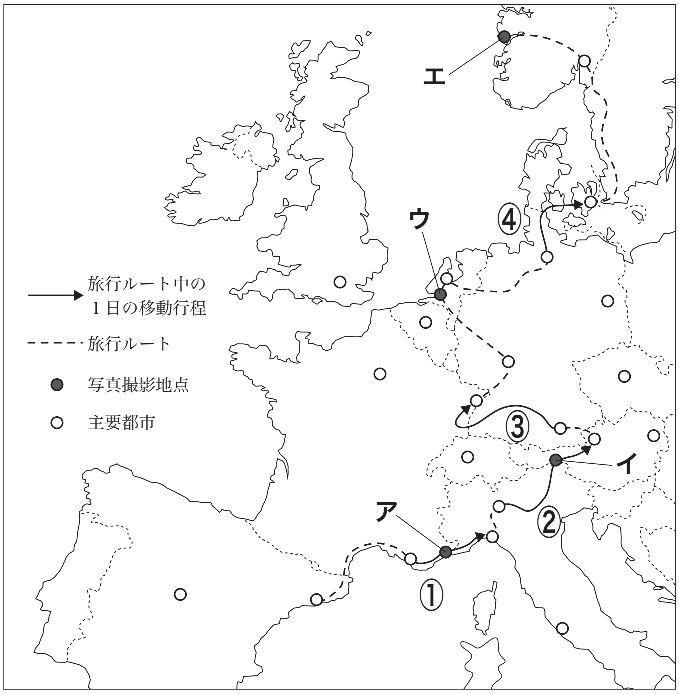


図　１

有名なビール祭りが開かれる大都市を早朝出発した。整備された高速道路の上を，畑や森を抜けて走った。国境に近くなると，ブドウ畑が広がってきた。やがて車は，河畔を緑で囲まれた大きな川に出た。川を渡ると，平行して運河が流れており，さまざまな国旗を掲げた貨物船が行き来する姿を見ることができた。途中，国境検問所の建物があったが，係官はいなかった。パスポートを見せることもなく隣の国へ行くことができたわけである。再び田園地帯を走っていくと，突然，日本企業の工場があらわれて驚いた。この場所は，この国からみれば周辺の位置にあるが，ヨーロッパ連合（EU）においては中心の位置にあるからだと，父は説明してくれた。再び，ブドウをつくる村々を通って，美しい街で宿をとった。

問　前述の紀行文に記述されている太郎君たちの移動行程に該当するものを，図中の実線部分①～④のうちから一つ選べ。

［７］（2005年度地理Ｂ追試験第３問問５）

次の**カ**～**ク**の文は，下の図３中に示したイタリアにおける**Ｘ**～**Ｚ**のいずれかの地域の工業について述べたものである。**カ**～**ク**と**Ｘ**～**Ｚ**との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

カ　衣服や様々な機械類を生産する中小工場が集積しており，新たな成長地域として注目されている。

キ　大企業を主体にしたこの国最大の工業地域であり，自動車・繊維工業のほか，臨海部では石油化学工業が発達している。

ク　地域間格差の是正を目的として，政府の出資した公社などによって，大規模な製鉄所が建設された。

図　３

	①	②	③	④	⑤	⑥
カ	X	X	Y	Y	Z	Z
キ	Y	Z	X	Z	X	Y
ク	Z	Y	Z	X	Y	X

［8］（2015年度地理Ａ追試験第３問問４）

次の**サ**～**ス**の文は，図１中のビルバオ，ブリュッセル，ベルファストの３都市を中心とした地域のいずれかについて述べたものである。**サ**～**ス**と都市名との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

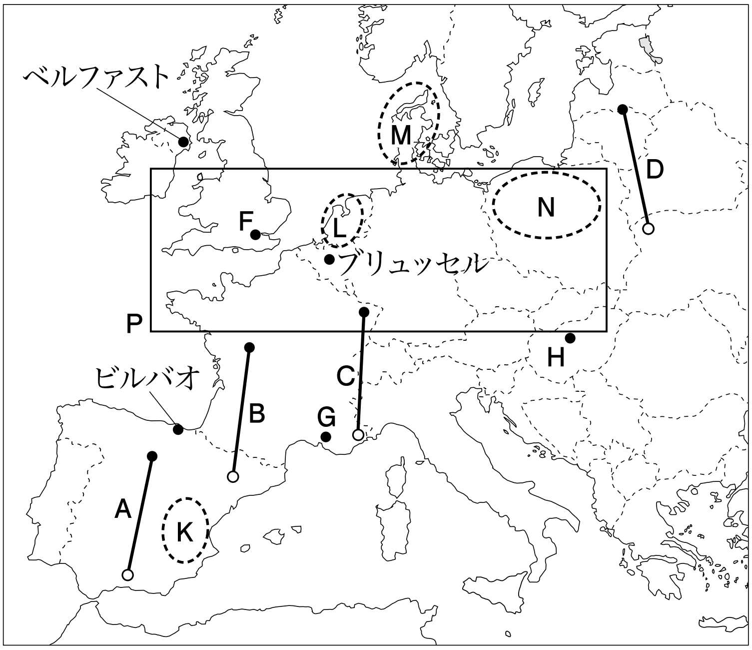


図　1

サ　カトリック系とプロテスタント系の住民間で紛争が繰り返されてきた。
シ　ゲルマン系言語を話す住民とラテン系言語を話す住民が共存する。
ス　バスク語を話す人々が住み，自治の拡大を求める声がある。

	サ	シ	ス
①	ビルバオ	ブリュッセル	ベルファスト
②	ビルバオ	ベルファスト	ブリュッセル
③	ブリュッセル	ビルバオ	ベルファスト
④	ブリュッセル	ベルファスト	ビルバオ
⑤	ベルファスト	ビルバオ	ブリュッセル
⑥	ベルファスト	ブリュッセル	ビルバオ

［９］（2016年度地理Ｂ本試験第４問問２）

次の①～④の文は，図１中のＪ～Ｍに示したライン川またはドナウ川に面する都市について述べたものである。Ｊに該当するものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

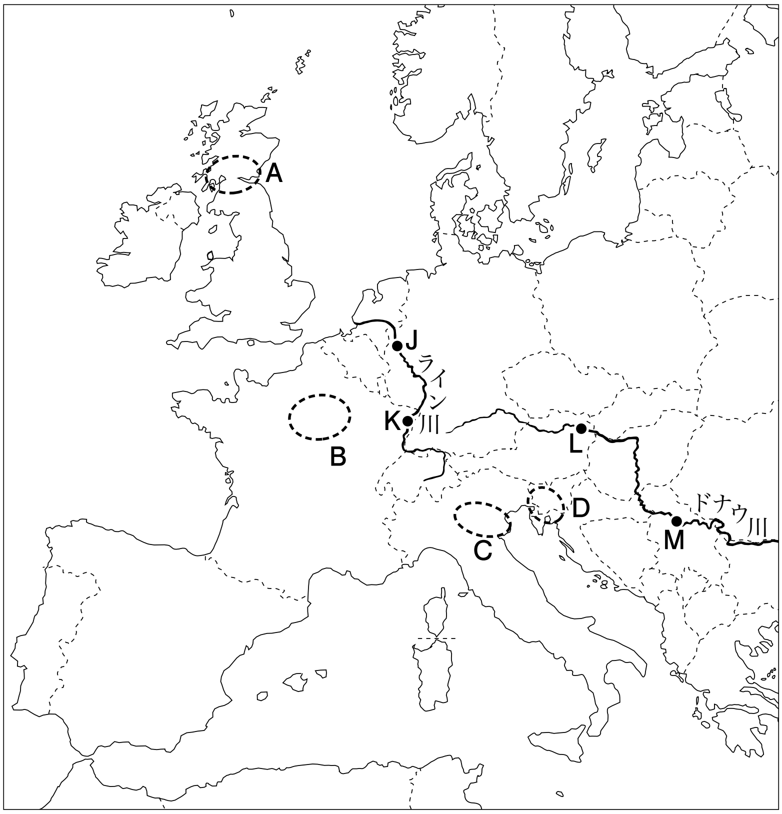


図　１

① 強大な帝国の中心地として成長を遂げた都市で，各種工業が栄えたほか，今日では「音楽の都」として観光客を集めている。

② ヨーロッパでも有数の連接都市（コナベーション）を後背地にもち，外国企業や金融機関など中枢管理機能の集積がみられる。

③ 隣国との間で帰属の移り変わりがあった都市で，独自の文化が育まれ，多国籍企業や国際機関を引きつけてきた。

④ 連邦国家を構成していた時代からの首都で，1990年代の政情不安や紛争により都市の経済発展は停滞した。

［10］ （2015年度地理Ｂ本試験第３問問１）

次の①～④の文は，カイロ，ハンブルク，ベネチア（ヴェネツィア），ベルゲンのいずれかの都市の立地とその特徴について説明したものである。ハンブルクに該当するものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

① 三角江（さんかくこう）（エスチュアリー）をなす河口から約100kmほど内陸に発達した都市で，国内最大の港湾都市となっている。

② 潟湖（せきこ）（ラグーン）の中に形成された都市で，近年は高潮による水没の被害に悩まされている。

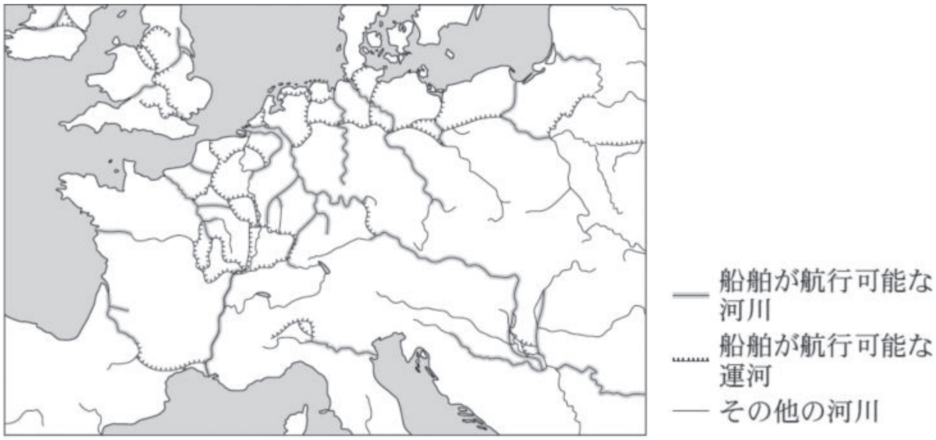
③ 大河川の三角州（デルタ）の頂点に立地する都市で，現在の市街地は河川の分岐点に発達している。

④ 両側を急斜面に挟まれた入り江に位置する都市で，国内有数の海運業の拠点となっている。

第３講
北ヨーロッパ・西ヨーロッパ［確認問題］

［１］（2024年度地理Ａ追試験第３問問２）

次の図２は，ヨーロッパの主な内陸水路を示したものである。ヨーロッパにおける内陸水運について述べた文①～④のうちから，**適当でないもの**を一つ選べ。



Diercke Weltatlas, 2008 により作成。

図 ２

① アルプス山脈以北では，平地が多いことに加え，河川流量が安定していることが，内陸水運の発展につながった。

② ドイツやフランスでは，主要な河川や運河に港が整備され，原料や工業製品の水上輸送が可能となったことで，内陸部の工業地域が発展した。

③ 西ヨーロッパと東ヨーロッパとの間は，内陸水路のみで移動できないため，両者の河川を陸路で結ぶ大規模な貨物積替基地が内陸部に整備された。

④ 北海と地中海にそれぞれ河口がある二つの河川を結ぶ運河が建設されたことで，北海から地中海まで，内陸水路のみで移動することが可能となった。

［２］（2004年度地理Ｂ追試験第３問問１）

次の**ア**～**ウ**の文章は，イギリス，スイス，スペインのいずれかの国における都市の特徴について述べたものである。**ア**～**ウ**と国名との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

ア　人口第１位の都市は首都であり，かつては世界有数の港湾都市であった。人口第２位の都市は，産業革命期に工業都市として発達した。

イ　人口第１位の都市は首都であり，国土のほぼ中央に位置する。人口第２位の都市は，首都と並ぶこの国有数の商工業都市である。

ウ　連邦国家を成しており，首都のほかにも規模の大きな都市がみられる。首都の人口規模は，国内で第４位である。

	ア	イ	ウ
①	イギリス	スイス	スペイン
②	イギリス	スペイン	スイス
③	スイス	イギリス	スペイン
④	スイス	スペイン	イギリス
⑤	スペイン	イギリス	スイス
⑥	スペイン	スイス	イギリス

［３］（2007年度地理Ｂ本試験第２問問２）

次の図２中のＡ～Ｃは，ヨーロッパにおける三つの工業地域の一部を示しており，下のカ～クの文は，Ａ～Ｃのいずれかの特徴について述べたものである。Ａ～Ｃとカ～クとの正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

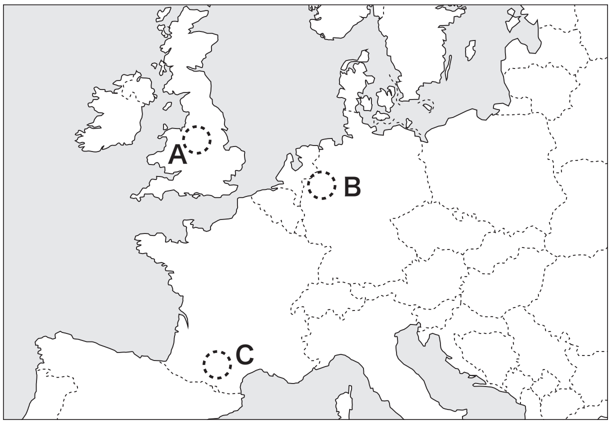


図 ２

カ この付近で産出される石炭や鉄鉱石を利用して，産業革命期から鉄鋼・機械工業が盛んである。

キ 炭田地域に位置し，工業の中心がかつての重工業から，エレクトロニクスや環境，医療技術などの分野に移行しつつある。

ク 学術研究都市であり，航空機の最終組立てなどの産業が盛んである。

	①	②	③	④	⑤	⑥
A	カ	カ	キ	キ	ク	ク
B	キ	ク	カ	ク	カ	キ
C	ク	キ	ク	カ	キ	カ

［４］（2010年度地理Ｂ本試験第５問問３）

図１中の**Ｅ**～**Ｇ**は，ヨーロッパにおける三つの工業地域を示しており，次の**サ**～**ス**の文は，**Ｅ**～**Ｇ**のいずれかの特徴について述べたものである。**Ｅ**～**Ｇ**と**サ**～**ス**との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

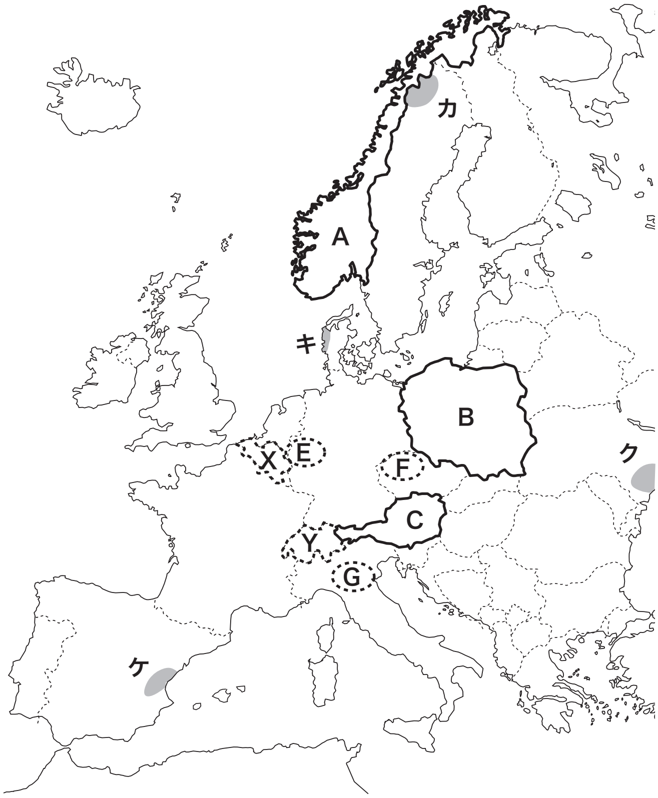


図　１

サ　衣料品や装飾品などの手工業が伝統的に発達しており，企業間の連携をいかした製品開発が行われている。

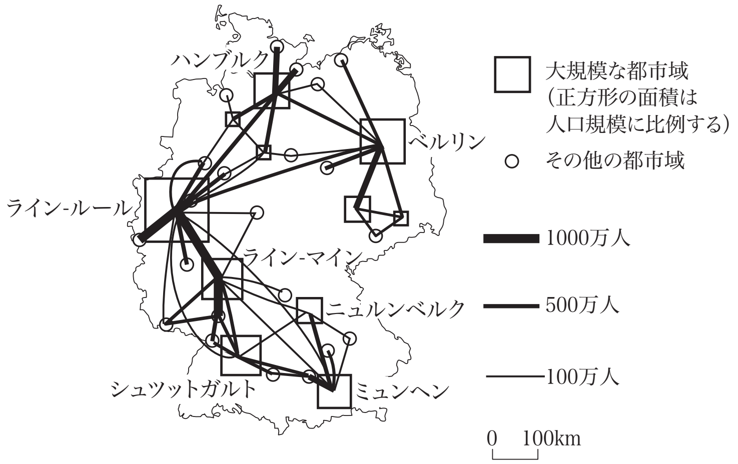
シ　繊維やガラス工業などが発達していたが，近年では賃金の安さから自動車関連の工場などが進出している。

ス　近隣の資源を利用して鉄鋼業が発達したヨーロッパ有数の工業地域であるが，エネルギー革命や構造不況を経て，近年では工業の多様化がすすんだ。

	①	②	③	④	⑤	⑥
E	サ	サ	シ	シ	ス	ス
F	シ	ス	サ	ス	サ	シ
G	ス	シ	ス	サ	シ	サ

［５］ (2003年度地理Ａ本試験第３問問５)

次の図３は，ドイツにおける都市域間の旅客交通量(100万人以上)を示したものである。図３について述べた文として最も適当なものを，下の①～④のうちから一つ選べ。



統計年次は1993年。
Bundesministerium für Raumordnung. Bauwesen und Städtebau, *Raumordnungsbericht* による。一部改変。

図 ３

① ドイツにおける都市の結びつきは，首都の規模が大きいために，首都を中心とした一極集中的な構造を示している。

② ハンブルクからミュンヘンまでの旅客交通が多いのは，ライン川の水運を利用した旅客輸送の発展によるものである。

③ ドイツ中央部で大規模な都市域がみられないのは，低湿な地形条件によって発展が遅れたためである。

④ 過去の東西ドイツの分断による影響は，ドイツの旅客交通が東西方向よりも南北方向で活発な点に表れている。

［6］（2009年度地理Ｂ追試験第６問問４）

次の**カ**～**ク**の文は，下の図３中の**Ｐ**～**Ｒ**のいずれかの地域でみられる民族紛争について述べたものである。**カ**～**ク**と**Ｐ**～**Ｒ**との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

図　３

カ　カトリック系住民とプロテスタント系住民が対立してきた。
キ　キリスト教系住民とイスラム教系住民が対立してきた。
ク　独自の言語を使う民族が独立国家の建設を目指す運動を展開してきた。

	①	②	③	④	⑤	⑥
カ	P	P	Q	Q	R	R
キ	Q	R	P	R	P	Q
ク	R	Q	R	P	Q	P

第３講
北ヨーロッパ・西ヨーロッパ　解答

[１]正解；⑥

[２]正解；⑤

[３]正解；⑥

[４]正解；①

[５]正解；④

[６]正解；③

[７]正解；③

[８]正解；⑥

[９]正解；②

[10]正解；①

第３講
北ヨーロッパ・西ヨーロッパ　解答

［１］正解；③

ヨーロッパは国際河川や運河を利用した内陸水運が盛んな地域である。

①について。アルプス山脈以北のヨーロッパ北部は全体として平坦な地形に恵まれ，一部にみられる山地も険しいものではない。また，年間を通じて偏西風の影響によるおだやかな気候がみられ，降水量の季節的変化も少ないことから河川の流量も安定している。河川や運河の利用には有利である。よって正文となる。

②について。河港を中心とした工業地域の例としてライン川沿いのルール地方がある。内陸水運を利用して鉄鉱石などの原料を輸入し，鉄鋼や機械類などの工業製品を輸出している。これも正文となる。

③について。ライン川とドナウ川について考える。ライン川は西ヨーロッパを流れ北海に注ぐ河川であり，ドナウ川は東ヨーロッパを流れ黒海に注ぐ河川である。ライン川の支流とドナウ川が運河で結ばれており，北海から黒海まで内陸水運を利用した船舶の航行が可能となっている。このことは図からも確認できる。図の中央付近(スイス)の湖から北へ向かって流れる河川がライン川であり，ドイツからオランダへ向かって流れている。図の南東部へ向かって流れる大きな河川がドナウ川だが，ライン川の支流と運河でつながっていることが確認できる。「西ヨーロッパと東ヨーロッパとの間は，内陸水路のみで移動できない」は誤りであり，この選択肢が正解となる。

④について。北海に河口を持つ河川としてライン川を確認する。図から，支流や運河によって地中海へと流出する河川とつながっていることがわかる。北海から地中海へと船舶が航行することは可能なので，正文となる。

［２］正解；②

アはイギリス。首都ロンドンはテムズ川のエスチュアリーに面する港湾都市として発展した。人口第２位のバーミンガムは，鉄山と炭田に近接し，原料指向型の鉄鋼業がかつて栄えた。現在は機械工業など。

イはスペイン。首都マドリードは国土中央部の高原上に位置する。人口第２位のバルセロナは，地中海に面する港湾都市。フランスなどから自動車工場が進出している。

ウはスイス。ヨーロッパの国としては例外的に人口最大都市と首都が一致しない。連邦国家であり，州ごとの独自性が強く，公用語も４つ規定されている（ドイツ語，フランス語，イタリア語，ロマンシュ語）。なお，首都ベルンの人口は問題文では「第４位」とされているが，現在は第５位である。

［３］正解；①

カ；「産業革命」がキーワード。イギリスの**A**が該当。バーミンガムでは付近で産出される鉄鉱石と石炭を利用した鉄鋼業が興った。

キ;「炭田」を中心としているのは，ドイツ北西部のルール工業地帯。**B**が該当。ただし，近年は重工業の停滞により，知識集約型の産業への転換が図られている。

ク；「航空機」の共同工場があるのはフランス南部のトゥールーズ。**C**が該当。

［４］正解；⑥

最重要のキーワードは，**シ**の「賃金の安さ」。経済レベルの低さ，すなわち１人当たりGNIが低いことを表している。これに該当するのは東ヨーロッパ地域であり，**シ**がチェコの**F**に該当。安価な労働力が有利な条件となり，ドイツなどから自動車工場が進出。

さらに**E**の場所に注目しよう。ドイツ西部であり，ルール工業地帯に該当。「近隣の資源」すなわち石炭を利用して「鉄鋼業」が発達したことから，**ス**がこの地域の説明文となる。近年は鉄鋼業は停滞しているが，先端産業を誘致するなどして，新たな工業地域へと再生している。

よって正解は⑥となるが，**G**のイタリア北部にも注目しておこう。これは**サ**が該当し，伝統的な技術を生かした皮革工業などが集積している。「第三のイタリア（サードイタリー）」である。ボローニャなど。

［５］正解；④

ハンブルク，ライン・ルール，ミュンヘンなどは旧西ドイツ。関係性は密接である。それに対し，ベルリンは大半が旧東ドイツ。ハンブルクなど北部の地域を除けば，他地域とのつながりは希薄。

①；ドイツの人口最大都市はベルリン（約350万人）であるが，ベルリンを中心とした構造はみられない。

②；ライン川は国土の西部を流域に収める。ハンブルクはエルベ川のエスチュアリーに面する港湾都市。ミュンヘンは山岳部に位置し，その北をドナウ川が東

へ流れている。

③；とくにそういった地形条件はみられない。本図には表されていないが，中央部にも自動車工業で名高いヴォルフスブルクなどの都市がみられる。

［６］正解；②

カ；カトリックとプロテスタントが対立するのは北アイルランド地方。**P**が該当。アイルランド島はカトリック地域であるが，入植したイギリス系の人々（支配層を成していた）はプロテスタントであり，社会的な立場の格差もあり，激しく対立した。

キ；キプロスは実質的な分裂国家であり，南部を中心に多数派のギリシャ系キリスト教徒が居住するが，北部には対岸のトルコから渡ってきたイスラム教徒が住んでいる。

ク；「独自の言語」を使用するのはバスク人。フランスからスペインにかけての地域であり，周辺の言語とは全く異なる。ただし，カトリック教徒であり（15～16世紀の宣教師の多くはバスク出身者だった），宗教的な対立はない。